就活面接で気が付いた事part 2

面接で他の就活生を見て気が付いた事を幾つかご紹介したいと思います。

・ハンドジェスチャーが少ない

日米での生活を通して感じた違いの一つに、日本人はハンドジェスチャーが少ないと言う事があります。要するに、身振り手振りを使って話す事なく、就活面接の文脈で言えば、両手を膝の上に固定させて、大仏のように不動で喋り続ける就活生がほとんどでした。

身振り手振りを使って話す事で、よりカリスマ的に見え、発言に説得性が増し、さらにあなた自身も言葉をより表現しやすくなる、言葉が出やすくなると言う、良い事があるのです。

動画下の記事元にハンドジェスチャーを学べる動画を記載しておきましてので、ご覧下さい。

・敬語礼儀作法が完璧では無い

意外と敬語礼儀作法でミスってる就活生を見る事がありました。私は海外生活の方が長い分、しっかりと勉強しなきゃなと思って勉強したので、気にしていた分、他の就活生のミスが目に付いたのでしょうが、恐らく面接官様方も同じように「日本人なのに礼儀作法もまともに出来んのかい！」と思っているのでは無いかな～と思います。

余談ですが、就活面接で退室する際、座ったまま一礼、からの起立して一礼と言う流れなのですが、起立してから一礼するのを忘れてしまい、クルっと回って歩き始めてから他の就活生が一礼してるのを横目で見て急いで戻って一礼していた就活生が居ました。まぁ、私の事なんですがね…やらかしました。せっかく帰国子女なのに礼儀作法しっかりと出来ているギャップを魅せようと思ったのに。

まぁ、敬語礼儀作法がしっかり出来ていて損は無いですので、しっかりとさせるべきだと思います。